

3回	研究の基礎（3）：研究の進め方や論文検索、データ解析、論文執筆等について演習をおこなう。（山口文徳）
4回	研究の基礎（4）：研究の進め方や論文検索、データ解析、論文執筆等について演習をおこなう。（山口文徳）
5回	神経系・感覚系疾患に関する演習（1）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
6回	神経系・感覚系疾患に関する演習（2）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
7回	神経系・感覚系疾患に関する演習（3）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
8回	神経系・感覚系疾患に関する演習（4）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
9回	神経系・感覚系疾患に関する演習（5）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
10回	神経系・感覚系疾患に関する演習（6）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
11回	生活習慣病に関する演習（1）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
12回	生活習慣病に関する演習（2）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
13回	生活習慣病に関する演習（3）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
14回	生活習慣病に関する演習（4）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
15回	生活習慣病に関する演習（5）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
16回	生活習慣病に関する演習（6）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。（山口文徳）
17回	がん細胞研究に関する演習（1）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。データ解析と結果の考察をおこない、プレゼンテーションとディスカッションの準備をする。（山口文徳）
18回	がん細胞研究に関する演習（2）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。データ解析と結果の考察をおこない、プレゼンテーションとディスカッションの準備をする。（山口文徳）
19回	がん細胞研究に関する演習（3）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。データ解析と結果の考察をおこない、プレゼンテーションとディスカッションの準備をする。（山口文徳）
20回	がん細胞研究に関する演習（4）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。データ解析と結果の考察をおこない、プレゼンテーションとディスカッションの準備をする。（山口文徳）
21回	がん細胞研究に関する演習（5）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。データ解析と結果の考察をおこない、プレゼンテーションとディスカッションの準備をする。（山口文徳）
22回	がん細胞研究に関する演習（6）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。データ解析と結果の考察をおこない、プレゼンテーションとディスカッションの準備をする。（山口文徳）
23回	がん細胞研究に関する演習（7）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。データ解析と結果の考察をおこない、プレゼンテーションとディスカッションの準備をする。（山口文徳）
24回	がん細胞研究に関する演習（8）：提示論文を詳読し、その研究方法や結果、考察等について討論する。データ解析と結果の考察をおこない、プレゼンテーションとディスカッションの準備をする。（山口文徳）
25回	悪性腫瘍演習（1）：がん患者における実際の検査結果を用いたデータ解析演習をおこなう。（脇坂浩之）
26回	悪性腫瘍演習（2）：がん患者における実際の検査結果を用いたデータ解析演習をおこなう。（脇坂浩之）
27回	悪性腫瘍演習（3）：がん患者における実際の検査結果を用いたデータ解析演習をおこなう。（脇坂浩之）
28回	悪性腫瘍演習（4）：がん患者における実際の検査結果を用いたデータ解析演習をおこなう。（脇坂浩之）
29回	総括（1）：演習の総括、プレゼンテーション、ディスカッションをおこなう。（山口文徳）。
30回	総括（2）：演習の総括、プレゼンテーション、ディスカッションをおこなう。（山口文徳）。

成績評価方法及び基準

成績は、各演習内容のレポート（70%：資料収集15%、論理性15%、考察40%）およびプレゼンテーションとディスカッション（30%）で100点満点とし、60点以上を合格とする。

教科書	適宣英文（Nature, Lancet, Science, PLOS One等）、和文論文およびプリント等を配布する。
参考図書等	

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

ディスカッションを通じて主体的、積極的な講義への参加を希望する。原則として病態情報解析特論の履修を前提とする。

関連科目

前科目	M301 臨床検査技術学特	M302 医療技術科学研究							
後科目	M319 病態情報解析演習								

実務家教員

医師（医療機関）	山口 文徳	脇坂 浩之				
備考						